

世界から見た 「九州の水」 の可能性



SDGsの時代に

開催日時：2019年12月11日(水) 13:30～17:00(13:00 会場受付開始)

会場：電気ビル共創館3階 カンファレンスA (福岡市中央区渡辺通 2-1-82)

参加費:1000円(税込) 定員:150名

九州では美しく豊かな水を守りながらの持続可能な生活や経済のために、様々な試行錯誤が行われ知恵や経験が蓄積されてきました。近年、国際動向が日常生活にも影響する時代となりました。持続可能な社会にむけた国際的な目標（SDGs）達成とは、実は足元の生活や経済の見直しと、改善の積み重ねです。今日では当たり前の生活や活動が、国際的にも注目されており、自然の修復や管理を長く継続する、多世代で一緒に考えたり、伝統知を最先端技術に合わせたりなど世界が今求めている方向と合致しているのです。

九州水フォーラム2019では、水をめぐる国際と地域のつながりを考えます。

基調講演では、水に関する国際な取り決めと現場とのつながりに具体例を交えてお話頂き、ポスター・セッションでは、九州の水の活動の実践者と参加者が対話し交流します。そして、パネル・ディスカッションでは若手からベテランまで、日常と世界を連続させているリーダーの方々が語り合います。2020年にアジア太平洋水サミットが熊本で開催され、これらの九州の水の事例を世界とつなげる機会となることでしょう。

<開会挨拶> (13:30～13:35)

実行委員長 貫 正義氏 (九州電力相談役)

<基調講演> (13:35～14:30)

「国際と日本の水に関わる多分野の条約等の波及動向と今後の展望」

国際協力機構 国際協力専門員(防災・水管理)／東京大学 客員教授 石渡 幹夫氏

<ポスターセッション> (14:30～15:20)

水に関する九州の地域活動や企業の活動(CSR)や水力発電、飲料、教育、観光、環境、若者の展開

<パネルディスカッション> (15:20～16:40)

「国際とつながる九州の水の持続可能性」

モデレーター

国連ハビタット福岡本部 本部長 是澤 優氏

パネリスト

日本コカ・コーラ株式会社 柴田 充氏 (世界的な飲料容器の改革)

直方川づくり交流会 仲野 健太郎氏 (第6回世界水フォーラム参加経験者)

一般財団法人 九電みらい財団 藤木 渉氏 (くじゅう坊ガツル湿原の野焼き活動と水源涵養林の維持管理活動)

コメンテーター

国際協力機構 国際協力専門員 (防災・水管理) 石渡 幹夫氏・九州大学大学院工学研究院 清野 聡子氏

<アジア太平洋水サミットについて> (16:40～16:50)

熊本市環境局 環境推進部 水保全課 アジア・太平洋水サミット推進室 室長 廣瀧 宗美氏

<閉会挨拶> (16:50～17:00)

代表世話人 竹村 公太郎氏 (日本水フォーラム代表理事)

<名刺交換会> (17:00～18:00)



九州水フォーラム2019

KYUSHU WATER FORUM 2019

参加申込書

ご参加される方の必要事項をご記入の上、FAX(092-802-3437)にご送付
もしくは九州水フォーラム2019の問い合わせメール

(seino★civil.kyushu-u.ac.jp(★を@に変換してご送信ください)より
お名前、ご連絡先、会社名、ご所属、ご住所、電話番号、メールアドレス
を記入してご連絡をお願い致します。

ご参加者1

会社、団体名等

ご所属・お役職

お名前

ご住所 〒

TEL :

E mail

FAX :

ご参加者2

会社、団体名等

ご所属・お役職

お名前

ご住所 〒

TEL :

E mail

FAX :

ご参加者3

会社、団体名等

ご所属・お役職

お名前

ご住所 〒

TEL :

E mail

FAX :

■ 4名以上参加される場合は、この参加申込書をコピーしてお申し込み下さい。

■ 情報のお取り扱いについて

ご記入頂きました情報は、九州水フォーラム実行員会事務局において、本講演会の円滑な運営のためにのみ利用させていただきます。

■ お申込み・お問合せ先 九州水フォーラム2019 実行委員会事務局

〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室内

担当：清野聡子、田中

TEL/FAX 092-802-3437, seino★civil.kyushu-u.ac.jp(★を@に変換してご送信ください。)